

おんたけさん 御岳山



御岳山は宇都宮丘陵の北西部に位置する、標高208mの小高い山である。大半が白い凝灰岩で覆われ、美しい岩肌が露出している。山頂に登ると北に宇都宮アルプス、西に半蔵山や男抱山、そして眼下に田川や碁盤の目のような美田を望むことが出来る景勝の地である。

山頂の北端、崖の上に鎮座するのが御岳神社で、江戸時代の天保5年（1834）、上金井村の嘉平氏、金右衛門氏によって木曾御岳山から勧請された。祭神はさるとひこのみこと猿田彦命、おおなむちのみこと大己貴命、くにのとこたちのみこと国常立尊、すくなひこなのみこと少彦名命、かなやまひこのみこと金山彦命など5柱を祭る。明治15年、御岳教立教とともに、その所属教会となった。祭典は春4月17日と秋11月17日の年2回で、かつては祭典後の余興として、芝居や演芸会などが行われた。



富屋地区まちづくり連絡協議会 令和2年建立